



平成 19 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 エス・バイ・エル 株 式 会 社
代 表 者 名 取締役社長 松 川 敏 夫
(コード番号 1 9 1 9 東証・大証 第一部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 澤井 幹人
T E L 0 6 (6 3 1 5) 1 1 3 1

過去の業績に影響を与える事象の発生について

当社は、平成 19 年 3 月期決算の確定に際して、過去の平成 15 年 3 月期から平成 18 年 3 月期までの決算においても売上計上時期に問題がないかを改めて調査し、平成 15 年 3 月期から平成 18 年 3 月期までの間に、売上の計上分はすべて契約がなされておりましたが、本来の売上計上期より前に売上計上していた事象が合計 32 件存在していたことが判明致しました。これに伴い、過去の業績について修正を行うこととなりましたので、下記のとおりお知らせ致します。

尚、内容と原因の調査結果の詳細につきましては、終了次第改めてお知らせ致します。

記

1. 経緯

当社は、現在、売上計上基準について厳格な運営を行っておりますが、今般、当社会計監査人からの指導もあり、改めて、過去 5 年間の売上計上処理について、当該期末月完工棟数の全てである 4,115 棟を対象として、計上時期を調査しました。

そうしたところ、平成 15 年 3 月期から平成 18 年 3 月期までの間に、当社の売上（完工）計上基準に合わない計上処理が各期数件あったことが判明致しました。

2. 内容と原因

「本来の売上計上期より前に売上計上していた事象」とは、本来は翌期に売上計上すべき一部工事未了の物件を完了したものとし、売上を先行して計上したものであります。

その原因は、当時、事業計画の達成に向けた強力な業務推進を行ったために、本来計上すべきでない売上が前倒しで計上したものであり、コンプライアンスに関する社内教育の不徹底、内部統制の不十分さにあったと重く受け止めております。

3. 再発防止に向けての改善措置

平成 19 年 3 月期からは、売上計上基準遵守の徹底を図り、同様の事象はございませんが、過去において本来の売上計上期より前に売上計上していた事象が判明したことを重く受け止め、次のとおり再発防止に向けての改善措置を講じて参ります。

(1) コンプライアンス教育の再徹底

コンプライアンス意識の更なる徹底を図ることを目的に、全社員を対象とした定期的な社内研修に一層力を入れて参ります。

(2) 内部統制の強化

今回の事象についての原因究明を行い、再発防止に向けた具体的な対応策を策定すると共に、内部統制の更なる強化を図って参ります。

(3) 社内監査体制の強化

監査法人及び監査役による物件実査とは別に、社内の完工チェックルールの改善見直しを行い、当該期に売上として計上する対象物件毎の全棟チェックを厳格に運用して参ります。

4. 当社業績に与える影響額

以上のような事象が判明しました結果、各期の損益及び純資産に与える影響額（見込み）は以下のとおりであります。

(連結) (単位:百万円)

	平成15年3月期(03/3期)			平成16年3月期(04/3期)			平成17年3月期(05/3期)			平成18年3月期(06/3期)		
	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額
売上高	102,758	102,693	△64	96,832	96,829	△3	87,556	87,454	△102	82,527	82,698	170
経常利益	△334	△351	△16	52	48	△4	△850	△864	△13	△1,577	△1,543	34
当期純利益	△8,670	△8,686	△16	830	826	△4	△1,858	△1,872	△14	△32,995	△32,961	34
純資産	30,573	30,556	△16	31,841	31,821	△20	29,259	29,225	△34	7,136	7,136	0

(単独) (単位:百万円)

	平成15年3月期(03/3期)			平成16年3月期(04/3期)			平成17年3月期(05/3期)			平成18年3月期(06/3期)		
	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額	訂正前	訂正後	影響額
売上高	81,145	81,080	△64	80,757	80,754	△3	72,711	72,609	△102	67,413	67,583	170
経常利益	△514	△531	△16	△236	△239	△3	△566	△581	△14	△1,936	△1,901	34
当期純利益	△9,554	△9,570	△16	1,300	1,296	△4	△1,975	△1,990	△14	△33,107	△33,073	34
純資産	30,650	30,634	△16	32,733	32,713	△19	30,048	30,014	△34	7,820	7,820	0

5. 今後の予定

(1) コンプライアンス及び内部統制の強化を目的とした再発防止策については、策定次第発表致します。

(2) 究明された原因を基に、責任の所在を明確化した上で、実施する処分内容を発表致します。

(3) 過年度の決算短信（連結・単独）、中間決算短信（連結・単独）及び四半期業績の概況の訂正につきましては、本年6月上旬を目処に開示致します。

(4) 過年度の有価証券報告書及び半期報告書につきましては、本年6月末を目処に関東財務局に対して訂正報告書を提出致します。

当社の売上（完工）基準に合わない計上処理を的確にチェックできなかった社内体制上の不備及び社内における牽制機能が働かなかった点につきましては、今回の事例を重く受け止め、一層の改善を図っていき、再度同様のことが発生しないよう万全を期す所存であります。

株主の皆様、お客様をはじめ関係者の皆様にご迷惑をお掛け致しますことを深くお詫び申し上げます。

以上

【参考資料】

損益に与える影響

(連結)

(単位:百万円)

	平成15年3月期(03/3期)				平成16年3月期(04/3期)			
	訂正前	修正戻し	修正	訂正後	訂正前	修正戻し	修正	訂正後
売上高	102,758	-	△64	102,693	96,832	64	△67	96,829
経常利益	△334	-	△16	△351	52	16	△20	48
当期純利益	△8,670	-	△16	△8,686	830	16	△20	826
	平成17年3月期(05/3期)				平成18年3月期(06/3期)			
	訂正前	修正戻し	修正	訂正後	訂正前	修正戻し	修正	訂正後
売上高	87,556	67	△170	87,454	82,527	170	-	82,698
経常利益	△850	20	△33	△864	△1,577	33	-	△1,543
当期純利益	△1,858	20	△33	△1,872	△32,995	33	-	△32,961

(単独)

(単位:百万円)

	平成15年3月期(03/3期)				平成16年3月期(04/3期)			
	訂正前	修正戻し	修正	訂正後	訂正前	修正戻し	修正	訂正後
売上高	81,145	-	△64	81,080	80,757	64	△67	80,754
経常利益	△514	-	△16	△531	△236	16	△19	△239
当期純利益	△9,554	-	△16	△9,570	1,300	16	△19	1,296
	平成17年3月期(05/3期)				平成18年3月期(06/3期)			
	訂正前	修正戻し	修正	訂正後	訂正前	修正戻し	修正	訂正後
売上高	72,711	67	△170	72,609	67,413	170	-	67,583
経常利益	△566	19	△34	△581	△1,936	34	-	△1,901
当期純利益	△1,975	19	△34	△1,990	△33,107	34	-	△33,073